

ニッチ・ドッグスポーツ

第1回 千葉県白子町 アジリティー&オビディエンス練習会

アジリティーボール体験会@千葉・白子

ドッグスポーツ愛好会／2014年3月記

海外ではニュージーランドやアメリカなどの一部地域で楽しまれているアジリティーとフライボールをミックスしたようなドッグスポーツにフライジリティーがあります。このフライジリティーにアジリティーのハンドリングの要素を加えたコースで行っている競技が「アジリティーボール」です。アジリティーボールには、フライアジ部門、ジライアジ部門、トライアジ部門の3部門があります。

アジリティーボールは初心者（犬）も手軽に参加できるニッチ・ドッグスポーツとして、ドッグスポーツのすそ野の広がり、人と犬の生活の質（QOL／クオリティー オブ ライフ）の向上を目指します。

- ・開催日: 2014年4月19日・20日(土・日曜日)
- ・開催地: 県立九十九里自然公園多目的グラウンド(千葉県長生郡白子町)
- ・参加費: 無料 (当日会場にて、お申し込みください)

■アジリティーボール競技種目と基本的なルール

今回の体験会では、ホップアップ式フライボールボックスを使うフライアジ部門とフライボールボックスの代わりにトンネルなどを置いたトライアジ部門のクラスを行います。

カテゴリーはスモールクラス (大の体高35cm未満／バーの高さ20cm)、ミディアムクラス (大の体高35cm以上45cm未満／バーの高さ30cm)、ラージクラス (大の体高45cm以上／バーの高さ40cm) となります。

○フライアジ部門の概要

フライボールボックスから飛び出したボールキャッチと、アジリティー競技のノービスJPやノービスAGを参考にした走行コースによる種目です。コース内ではアジリティー競技と同じようにハンドリングできます。コース内のバー落下、障害不通過は障害ごとに、それぞれ2秒がゴールタイムに加算となります。ボックスから飛び出したボールを犬が空中キャッチまたは啜った時点でキャッチ得点5点が加算されます。拒絶や逆走による失格はありません。番号順に正しく通過し直してください。コース内のバー落下、障害不通過は障害ごとに、それぞれ2秒がゴールタイムに加算となります。往復の通過した障害ごとに、決められている点数が、障害得点として加算されますが、復路でボールを啜らないで通過した障害は得点になりません。

アドバンスクラスではハンドラーが、ボックスの一番手前の障害の延長線上のラインから先に出て、ハンドリングすることはできません。フットフォルトの場合はゴールタイムに5秒加算となります。

■アベレージクラス（中級クラス）

アジリティー競技のノービス・レベル1～2を基準にしたハードルとトンネルにより構成されたコースで行います。競技の順位はゴールタイムと障害ポイントにより、獲得ポイント計算式により割り出し決定します。

●獲得ポイントの計算(1/100秒で四捨五入とします)

速度＝距離÷時間を応用し、この距離の数値を100として計算します。

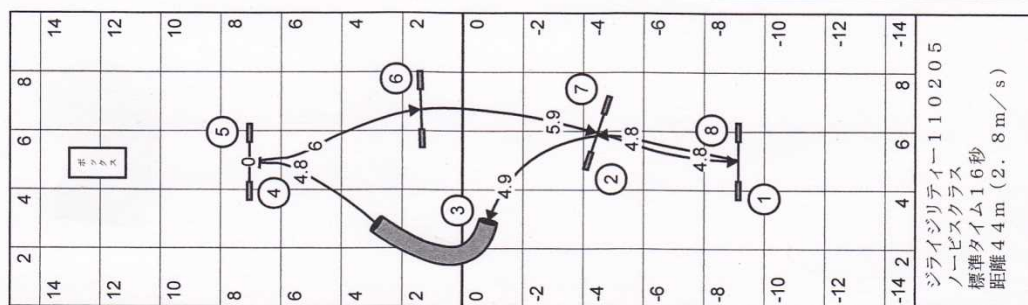
計算式：100÷ゴールタイム＋障害得点

例) 18秒50でゴールし、障害得点5点、バー落下1本、不通過障害1台の場合、それぞれ2秒が加算となり。

$$100 \div (18.50 + 2 \text{ (バー落下分)} + 2 \text{ (不通過分)}) + 5 = 9.44$$

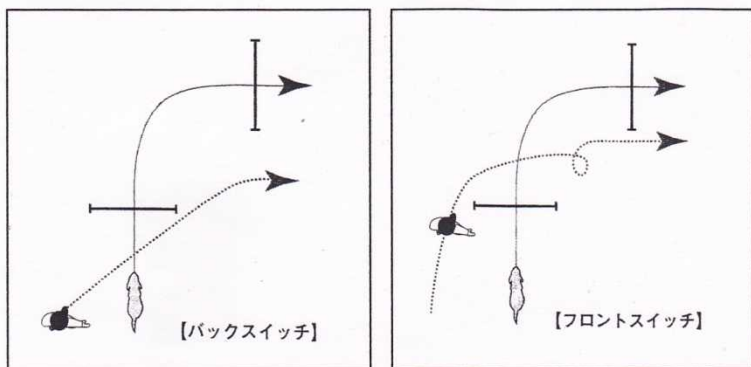
が、獲得ポイントです。得点の多い選手が上位となります。

■コース例



■サイドチェンジ（フロントスイッチとバックスイッチ）

コースでハンドリングする時に、プレーヤーと犬のポジションは普通には、レフトサイドとライトサイドの二つが考えられます。そしてコース攻略のため、このサイドをチェンジする場合に必要なテクニックとして、フロントスイッチ/フロントクロス(犬に先行して入れ替わる)とバックスイッチ/リアクロス(犬の後方で入れ替わる)などの方法があります。プレーヤー



のコース取りやポジションによっては、犬がオーバーランしタイムロスすることも考えられますから、どのスイッチをどのポジションで使うかは良く考えてハンドリングする必要があります。